

服部良一の国政レポート 2012. 9. 20

社会新報 号外
 発行所 社会民主党全国連合機関紙宣伝局
 週刊(水曜日発行) 千代田区永田町1-8-1
 電話 代表03 (3580) 1171 定価180円

ピースでピース Vol.12

発行者 服部良一と歩む会
 〒561-0881 大阪府豊中市中桜塚
 2丁目20番12号 田中ビル402号
 Tel:06-6855-0090 Fax:06-6855-0099
 http://www.hattori-ryoichi.gr.jp

▼さようなら原発 10万人集会にて、社民党国会議員団としてデモ行進 (左端 7/16 代々木公園)



政界再編の激動期に突入、 リベラル勢力の結集を今こそ！

衆議院議員
服部良一

消費税増税糾弾！

9月8日通常国会が閉幕しました。229日間という長い国会では

ありましたが、動いたのは「社会保障と税の一体改革」特別委員会、すなわち消費税増税と、あとは政局に明け暮れる日々でした。私の所属する外務委員会はこの

7ヶ月半の会期中で、質問3回だけ、海賊テロ対策特別委員会は実質上1回もなしという、散々な状態でした。国会の形骸化も甚だしいものがあります。消費税増税を決めただけの国会です。

私はこの社会保障と税の特別委員会で3回質問に立ち、予算委員会で一体改革を取り上げたのも3回、本会議では採決時の反対討論もしました。なぜ消費税ありきなのか、不公平税制の見直し、国際連帯税や金融取引への課税の必要性、逆進性対策、輸出戻し税、中

小企業対策、マイナンバー制の問題点などを指摘し、議論致しました。そもそも社会保障の全体像が明らかにされず、富の再配分のあり方、現役世代をいかに強くするのかの政策もないまま、「一体改革」とは名ばかり、単なる増税ありきになってしまっているのです。デフレ下での増税は中小零細企業や庶民の暮らしを直撃します。消費税増税撤回法案をつくり、闘っていく決意です。

茶番の三党談合

社民党など中小会派は、民自公・増税「談合三兄弟」と批判。参議院では、三党合意による消費税増税を糾弾する中小七会派が提出した問責決議案に自民党が賛成するということ、恥も外聞もない珍事が起こったことは、皆様も承知のことと存じます。

この出発は社民党の国会対策委員会でした。自民党は「消費税増税法案が通ったら内閣不信任決議案を出して野田政権を退陣に追い込む」と公言していました。不信任決議は大変重い決議で、通れば内閣総辞職か解散総選挙です。しかし消費税増税で談合しておいて成立してから不信任ではおかしい、消費税増税を止めるために参議院での採決を前に、自公以外の野党で出すべきと決めたのです。そして、自公以外の野党七会派73人で衆議院に不信任決議案、参議院に問責決議案を提出しま

▼社民党九州北部豪雨被害調査団に参加し、佐藤義興阿蘇市長の説明を聞く(7/20 阿蘇市坂梨地区)



した。
これには自民党が困りました。なぜなら国会のルールで一事不再議の原則があり、同一案件は同一会期中1回しか決議できないのです。自民党は、消費税参院採決前に不信任決議案を出して解散に追い込むか、増税法案を通すのか混乱しました。最後は増税を優先し棄権、8月9日不信任決議案は否決され、翌10日参議院で増税法案は可決されたのです(参院の問責決議は採決にかけられずに残されました)。

野田総理と谷垣総裁は2人で会談

し「近いうちに解散」を約束しました。しかし「近いうち」がいつなのかわかりません。自民党は今通常国会での解散を求め参議院で問責決議案を提出しましたが、すでに野党七会派で出していますから、どっちの問責を優先して決議するか決めなければなりません。参議院の議院運営委員会の力関係から、自公は七会派の決議案に乗らざるを得なかったのです。

原子力規制委員会人事の攻防

原子力規制委員会の5人の委員を決める同意人事も終盤国会の大きな問題になりました。しかし「公正・中立・独立」性の高い原子力規制機関の人事を、最初から国会での同意もとれず、「原子力ムラ」のメンバーを選んだ政府の責任はきわめて重大です。

とくに田中俊一委員長候補は元原子力委員会委員長代理で「100ミリシーベルトでも健康への影響は大きくない」と言った人です。また委員候補には高速増殖炉もんじゅの運営主体である日本原子力研究開発機構や日本アイソトープ協会の人がいます。

この三人は明らかに「原子力事業者等」のムラ出身です。規制委員会設置法の「欠格条項」にも違反する恐れがあると、自公以外の野党会派で要請書を提出し抗議しました。

また与党の環境部門会議などでも異論が相次ぎ、結局採決は見送りに。人事は一旦白紙に戻さなければなりません。9月半ばにも総理が職権で任命すると言われていますが、認める訳にはいきません。

「脱原発基本法案」国会上程

会期末ギリギリ9月7日朝9時過ぎ「脱原発基本法案」を国会に提出しました。大江健三郎さん、鎌田慧さんなど1000万人署名の呼びかけ人や原水禁、平和フォーラムなど多くの市民・団体が結集して発足した「脱原発法制定全国ネットワーク」が国会議員に呼びかけて実現しました。

私も事務局を担当し、各党の根回しや法案修正などを精力的に行いましたが、最後まで冷や汗だったのは、上程即廃案になるか、継続審議扱いになるのかでした。継続扱いにするためには民主・自民・公明各党の了解をとらなければならないのですが、なんとか継続扱いとなり、ほっとしました。政府のエネルギー選択肢も示される中で、次の臨時国会で本格的に議論となるべく努力して参ります。

オスプレイ沖縄配備阻止!

9月9日、沖縄県民大会は10万の怒りであふれかえりました。数々の墜落事故で30名以上の米兵が死亡し、

「空飛ぶ恥」といわれている危険なオスプレイ、日米両政府は市街地のど真ん中にある普天間基地への10月配備を強行しようとしています。特に垂直飛行から水平飛行に切替時にバランスを崩しやすく、構造的な欠陥が指摘されています。

私はオスプレイ配備反対闘争は、普天間基地の固定化に反対する闘いであると同時に、沖縄からの海兵隊の撤去につながる闘いだと考えています。普天間基地配備、辺野古の新基地建設、全国の低空飛行訓練の実施を断固阻止していきましょう!

衆議院選勝利に向けて

さて、何時解散があるかわからない情勢の一方、「日本維新の会」が全国新党を結成し、いよいよ政界再編の激動期に突入していきます。

社民党を中心として「平和・人権・脱原発」の政治勢力が本場の第三極としてどこまで存在感を示し有権者に選択肢を指し示すことができるか、重大な局面だと思います。官邸前や関電前の抗議行動と連帯しながら、自公でも民主でもなく、維新にも対決するリベラル勢力の結集と統一戦線が、今最も求められています!

近畿社民党の議席を死守すべく、次期総選挙を全力で闘うことをお約束し、あわせて皆様の温かいご支援を心よりお願いする次第です。

peace de peace……ピースをキーワードに、1人1人のピースがつながる、ピースなネットワーク



- 1 日本山妙法寺平和行進を激励 (7/15 豊中市)
- 2 MV22オスプレイ陸揚げ阻止集会でアピール (7/23 岩国市)
- 3 平和憲法をひろげる兵庫県民会議 (7/29 神戸市)
- 4 西正典防衛政策局長にMV22オスプレイ配備反対申入れ (8/2 広島市)
- 5 原爆ドーム前でダイ・イン (8/6 神戸市)
- 6 15・15 平和のための市民の集い (8/15 神戸市)

オスプレイ配備阻止！ 核兵器廃絶！ 平和憲法を守ろう！

- 1 「原発いらない 全国の女たち」緊急非暴力アクション (6/7 官邸前)
- 2 大飯原発破砕帯調査について超党派議員団おおい町申入れ (6/27 おおい町役場)
- 3 「大飯原発再稼働反対」金曜官邸前デモに参加 (6/29)
- 4 「関電あかんでん！」関西電力包囲アクション (7/27 関電前)
- 5 大飯原発再稼働反対！吹田脱原発行動 (8/11 吹田市)
- 6 原子力規制委員会同意人事について野党7党で小平議運委員長に申入れ (8/20)

脱原発・原子力規制委員会同意人事撤回で奔走



- 1 豊中クリーンセンター障害者就労事業(株)キルト視察 (5/14 豊中市)
- 2 「服部良一と歩む会」総会 (7/1 大阪市)
- 3 梶川慶二奈良県議政報告会で国政報告 (7/22 斑鳩町)
- 4 守口ゆんたく祭に参加 (7/29 守口市)
- 5 加島地区盆踊り大会で挨拶 (8/10 大阪市新加島公園)

地元近畿で頑張ってます！

写真で振り返る 服部良一の活動 (2012年5月～8月)

アジア・諸外国との友好を平和の礎に

- 1 朝鮮女性と連帯する関西集会 (5/20 神戸市)
- 2 花岡平和友好基金訪日団と社民党国会議員との交流会 (7/2)
- 3 重慶爆撃裁判原告鐘国華さんと面会 (7/4)
- 4 ドイツ左翼党メンツナー議員を迎えて映画「Hibakusha」院内上映会 (7/9)
- 5 中国青年代表団 A 団王琦分団長と (7/27)



服部良一へのメッセージ

カンパをお送り頂く際の郵便振替用紙を通じてお寄せ頂いたメッセージの中から、一部を紹介させて頂きました。皆さま、いつも応援ありがとうございます！

▼いつもニュースありがとうございます。3・11原発事故で、家族がやむなく避難しております。東電、政府の責任追及と「復興」の為、ご尽力いただきますようお願いいたします。(京都府宇治市)

▼社民党の議席は大切です。服部議員は最も貴重な政治家です。(東京都多摩市)

▼脱原発に向かうよう、原発再稼働阻止を強くお願いいたします。政治にビジョンを、思想を!! (横浜市青葉区)

▼戦後史上、最悪の野田政権、最悪の防衛大臣を起用。原発推進、辺野古基地建設推進の野田政権、打倒しがありません。社民党、労働運動、市民運動の強化で、流れを変えていきましょう。(大阪府城東区)

▼橋下市政も粉砕!! 小中高への「放射線について」の副読本配布断固拒否されたし。(大阪府河内長野市)

▼社民主義的世論をもっと広げていって下さい。御健闘を祈ります!(大阪府東大阪市)

▼憲法改悪、脱原発、沖縄問題、国会に私たちに代わってはならない人です。応援しています。(東京都杉並区)

▼愛と知恵に満ちた抵抗の政治をよろしくお願いたします。応援いたします。(横浜市青葉区)

▼脱原発、反基地、諦めないで訴え続けましょう。(大阪府四條畷市)

▼ご健康が守られるよう祈っています。お働きにはいつも感謝しています。(大阪府東淀川区)

▼福島原発行動隊の御支援ありがとうございます。今後もよろしくお願いたします。(東京都江戸川区)

▼6・17オスプレイ配備反対! 宜野湾市民大会にわざわざ御参加いただき、ありがとうございます。今後とも連携してがんばりましょう。(沖縄県名護市)

▼あまり無理をせずに、息長くがんばってください。(奈良県宇陀市)

▼原発再稼働反対! 共にかんぱりましょう。(大阪府高槻市)

▼ほんとうに政治を託せる人が少なくなりました。いつも民とともに闘う服部さんにかんぱりたいです。(兵庫県宝塚市)

▼人権、平和を核にするのは良い。特に働く世代の人々の権利を守ること、労働問題、子育て問題を強くうたえてほしい。共通の大きな総点を設定してほしい。(大阪府富田林市)

▼ベトナムへの原発輸出を絶対やめさせて下さい。核燃料も引きつづけるのも日本列島の汚染源になります。(兵庫県川西市)

▼日夜ご健闘ありがとうございます。身体のご健勝を祈ります。(大阪府三島郡)

▼私達の思いを託します。あたりまえに働いてあたりまえに暮らす、憲法・人権・脱原発をそして沖繩!(大阪府東淀川区)

▼7月の総会と講演とても良かったです。日本の良心としての社民党、服部さんのご健闘を願います。(大阪府堺市)

消費増税、原子力規制委員会人事、オスプレイ配備等で鋭く政府に切り込む

【国会質疑報告】

服部良一衆院議員政策担当秘書 宇佐美 昌伸

服部良一は民自公密室談合・国会審議空洞化を批判しつつ、重要課題について本質を突く質問を繰り返しています。

一体改革法案審議では、改革が矮小化され消費増税先行の「バラバラ改悪」であると、一体改革のビジョンをまとめた宮本太郎・北大院教授の苦言を紹介しながら追及。税制と社会保障もバラバラ、成長戦略や雇用戦略とも別建て、財政だけでなく、社会の持続可能性そのものが危機にあるときに認識が甘すぎるとの問いに、野田総理らは言い訳に終始。問題意識は一緒と言いつつ「一体改革に書いてあるかどうかは別として」と自ら批判を認める格好となりました。



▲社会保障・税特別委員会を代表して反対討論 (6/26)

止めをかけるべきとの提案には「共鳴する」と応じました。さらに、所得税・相続税・資産課税の不公平是正が先決との問いに、野田総理らは問題意識は共有するとしながらも、具体策は先送り。「三党合意」の修正案について、服部良一は社会保障改革の実現や所得税等の改正が消費増税引き上げの条件となるのかと質しましたが、民主党は社会保障改革については全くずれた答弁、所得税等改正は条件ではないと明言。法律上も消費増税先行が明確になりました。服部良一は、消費増税の撤回に全力を挙げます。

オスプレイについては、岩国陸揚げと前後して、野田総理や玄葉外相らを追及。総理らは米側との応酬を示唆しながらもどこを向いているのか分からない答弁。服部良一は、安全性について米側の言い分を聞くだけではなく、オートローテーション機能の欠如を指摘しているリポロ氏（元・米国防分析研究所主任分析官）にヒアリングする等、独自調査が必要と質しましたが、今のところ米調査の追認に終始しています。オスプレイ普天間配備や低空飛行訓練が強行されないよう、国会内外での取り組みを強めます。

大飯原発再稼働についても繰り返し質しましたが、細野担当大臣らは「安全神

話に陥らないように」と議論をずらして弁じ立てるばかり。服部良一は、大飯敷地内のF-6断層について国会で最初に取り上げ、質疑のみならず、渡辺満久東洋大教授らとの現地調査や経産省申入れなどを通じて政府に働きかけています。

同意人事問題を含め、終盤国会では原子力規制委員会が焦点に。服部良一は本会議と環境委で、一定の枠をはめる答弁をいくつも引き出しました。人事ルール、事業者との接触ルール等の中立性・透明性確保策、40年廃炉やバックフィット運用について等です。是非、議事録をご覧下さい。

ところが、政府は「原子力ムラとの決別」の真逆をいく人事案を国会に提示。田中俊一・委員長候補だけでなく、日本原子力研究開発機構の更田氏、日本アイソトープ協会の中村氏は法律や政府指針の定める欠格要件に抵触すると考えられます。服部良一は政府の欠格要件の解釈

がおかしいことをいち早く指摘し、議運理事会などで追及。野党7党の議運委員長申入れを仕掛けるなど、国会内外で人事案撤回に向けて動いています。

また、原子力基本法が改正され「我が国の安全保障に資する」との文言が追加され、韓国はじめ、国内外で日本の核武装への懸念が高まりました。服部良一は質問主意書を提出し、予算委で野田総理にも直接質し、非核三原則堅持の答弁を引き出しましたが、文言削除の法改正を求めていきます。

エネルギー・環境政策を巡る攻防も山場。服部良一は予算委で、政府が落としどころと想定していたと思われる「2030年原発15%」の虚妄を指摘するなど、鋭く切り込んでいます。民主党は昨年5月「原発アクシオンプログラム」を公表し、「原発ゼロ」提案の先鞭をつけましたが、「原発基本法」制定をはじめ、引き続き全力を注ぎます。

議論」/辺野古移設/沖縄県議選/米上院グアム移転予算凍結/テニアン日米共同訓練/オスプレイ

- 6月26日(火) 社会保障・税特別委員会 (法案締め括り質疑・採決): オスプレイ/政権交代の意味/社会保障改革や所得税等改正と消費増税引き上げ; 反対討論
 - 6月26日(火) 本会議: 一体改革法案反対討論
 - 7月9日(月) 予算委員会 (基本的質疑): 大飯F-6断層/国会事故調報告書・地震影響/「我が国の安全保障に資する」/エネルギー・環境選択肢 (原発比率15%、国民的議論、福島第2廃炉)、オスプレイ
 - 7月25日(水) 外務委員会: オスプレイ (米とのやり取り、安全性調査方法、低空飛行訓練、日米地位協定、海兵隊訓練マニュアル)
 - 8月1日(水) 外務委員会 (在外公館法改正質疑・採決): 朝鮮半島出身民間徴用者の遺骨返還/PKO法改正・駆けつけ警護/集団的自衛権
 - 8月1日(水) 議院運営委員会 (原子力規制委・田中委員長候補所信聴取): 原子力委秘密会合/事業者との関係/外部有識者人選/低線量被ばく/原子力業界からの報酬/再稼働・バックフィット/活断層
 - 8月24日(金) 議院運営委員会: 竹島・尖閣決議案採決反対討論
 - 8月28日(火) 議院運営委員会: 公選法改正案 (民主案) 採決延期動議
 - 8月28日(火) 本会議: 公債特例法案反対討論
- 提出した質問主意書
- 6月19日 使用者の労働委員会救済命令不履行是正について
 - 6月22日 原子力基本法改正等において「我が国の安全保障に資する」との文言が追加されたことについて
 - 8月9日 印刷事業場における胆管がん発症に係る労働安全衛生上の問題について
 - 8月21日 731部隊等の旧帝陸軍防疫給水部について
 - 9月5日 原子力規制委員会委員長及び委員の欠格要件について

peace de peace……ピースをキーワードに、1人1人のピースがつながる、ピースなネットワーク

【地元活動報告】 無意識の不安から希望の連鎖へ

社民党大阪府連合副代表 井上 幸洋

シェイクスピアの代表的悲劇に『マクベス』があります。「3人の魔女の『王になれる』との囁きを、マクベスは否定しながらも王を殺害したが、他人を信用できず自身も信用できず、不信と不安の中悲惨な最期を遂げる」というお話です。が、現在この魔女の囁きを受けているのは誰なのでしょう。

戦後生まれの私たちは、戦争が如何に普通の人を悲惨な状況に追い込み、戦時下の社会が「戦争」以外の思考を排除された思想統制で人間本来の「生きる」事を否定する社会であったかを学んだつもりです。その反省の上で平和に日常を継続させ、安心して仕事をする事で社会

に貢献できると信じ、その延長線上に多少の紆余曲折があろうとも、生活と社会制度の質の向上が行われるものと信じてきたのも事実です。が、そこで抜け落ちてきたものがあります。それは「他者任せでもうまくいく」と勘違いしてきた事と、そう思わされていた事。その弊害が、

昨年3・11東北大地震と原発事故後に大噴出しました。政府は人命尊重第一を軽視し、原子力利権の圧力に屈服する姿が白日下にさらされました、その典型が大飯原発再稼働と放射性汚染瓦礫全国拡散です。

国民所得が減少し疲弊するなか、不公平税制の極みと言われる消費増税を、民主主義を破壊した民自公の談合で成立させる。働く人の条件整備は進まず、働かせる側の論理で安定職につかせない非正規雇用の存続。大手労働組合も言葉を出さない。もはやこの状態は、少し前の歴史をたどれば、戦前の大政翼賛会となら変わらない状況です。

では、どのように発信すればいいのかと、私たちが考える間を縫って登場したのが、マスコミがたたえる英雄集団「大阪維新の会」でしょう。この集団、敵を作り、攻撃をし、また新たな敵をつくり攻撃をする、ある時は右であり、ある時は左にもなる。そこには国民の存在はなく、彼らが掲げる復古主義的右翼独裁

政治を成し遂げるための集団であることが見て取れます。彼らの目的は小泉・竹中路線の市場万能主義の単なる延長ではなく、この日本をどこかの国の、より完全な属国に仕上げることにあるのでしよう。その典型が、TPPへの積極参加、集団的自衛権の容認と、「維新八策」のこの項目を見ただけで、どこの国のために働いているのが透けてみえます。さらに、維新を持ち上げるためにマスコミは、既成政党批判＝悪政党としてひとくくりに批判し、主語のない「決められる政治」を、との大合唱を繰り返しています。少数政党でまっとうな批判をする社民党の存在など、マスコミは眼中にないのでしょうか。

そんな中、国民の意識は変わりつつあります。福島原発事故で如何に騙され続けてきたかに気付き、事故後も変わらず騙し続ける政府にNOを発信し始めました。それは東京に限らず全国に飛び火しています。また、放射性汚染瓦礫の拡散にも反対の狼煙が各地で上がっています。一部では、この発信を原発問題のみに矮小化しようとする動きもあつたようですが、今や生活全般・労働にわたり、一過性でない自分の言葉で発信し始めました。これは私たちが長らく教え込まれてきた「お任せで良い」からの脱皮の始まりです。宇沢弘文先生は『社会的共通資本』（岩波新書）の中で「地球上に存在するものは全てが社会的共通資本である」と述べています。水も空気も草木も土地も労働も万人共通のものであり、それを「金」に換算し利益を得ようとする行為に一定の歯止めをかけなくてはならないと。それは市場万能主義（格差差別拡大）とは正反対の位置にある考え方です。この考え方に基づけば、今の社会には破壊の中に利潤を求め、このことを修正していく努力が必要ではないでしょうか。修正された先には、英雄という魔女の囁きに惑わされない、希望をつなげる社会となるでしょう。

第180回国会(通常国会)における 服部良一の国会論戦

●質疑・討論

- 5月24日(木) 社会保障・税特別委員会(一体改革法案全般質疑): 一体改革矮小化/大企業の実際の法人税負担・法人税引き下げ競争・米仏の富裕税等の議論/企業内部留保/国際連帯税・金融取引税/法人課税ベース・優遇税制・受取配当金益金不算入/大企業の社保料負担/所得税累進強化/キャピタルゲイン軽減税率
- 5月29日(火) 本会議(政府・原子力安全組織制度改革法案、自公・規制委法案代表質問): 基準等立案や個別審査/評価の手続き/中立性・透明性確保策/委員長・委員・その他外部委員の経歴制限・利益相反排除/ノーリターンルール/新たな安全基準と再稼働/バックフィットの運用/40年廃炉/脱原発依存/原子炉仕分け/もんじゅ廃炉・再処理撤退/市民との対話/原子力防災/SPEEDI試算結果提供/国会事故調との関係/規制行政の外部監視
- 6月5日(火) 環境委員会(政府案、自公案): 大飯再稼働/F-6 断層
- 6月7日(木) 憲法審査会(第3章「国民の権利・義務」各会派意見表明)
- 6月11日(月) 社会保障・税特別委員会(法案集中審議): 大飯再稼働/社会保障改革先送り/所得税・相続税・資産課税抜本改革/法人税不公平是正・輸出戻し税/法人税引き下げ競争/給付付き税額控除
- 6月15日(金) 環境委員会(規制委法案質疑・採決): 4大臣会合/再稼働基準/40年廃炉/バックフィット/委員長・委員罷免要件・経歴制限/専門審査会・外部有識者人選ルール/人事監視/事業者接触ルール
- 6月15日(金) 外務委員会: ヨルダン下院原発計画一時停止決議・ベトナム有志抗議署名/731部隊「金子

ゆきひろ社会科日記 検索